

平成 27 年第 3 回伊賀市大山田財産区管理会 会議録（概要）

日 時：平成 28 年 2 月 25 日（木）9：00～11：30

場 所：農村環境改善センター 2 階小会議室

出席者：（管理委員）中森会長、辻副会長、豆本委員、村井委員、福田委員、西尾委員、松本委員

（管理人）廣島、加道

（事務局）大山田支所 児玉支所長、福永課長、臼井

財産区管理会 議事録（概要）

課長	皆さんお早うございます。定刻となりましたので、只今より第 3 回大山田財産区管理会を開催します。それでは開会にあたりまして中森会長よりご挨拶を頂戴します。宜しくお願いします。
会長	おはようございます。今日は皆さま、支所長さま大変忙しい中ご出席賜りありがとうございます。事務局さまについても、常にご尽力頂いており今後とも宜しくお願い致します。今回の議事につきましては、平成 27 年度補正予算、平成 28 年度予算要求、森林整備計画作成についての協議をしていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。
課長	ありがとうございました。それでは続きまして、支所長よりご挨拶を頂戴します。宜しくお願いします。
支所長	皆さま改めましておはようございます。お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。支所の行事について皆さまのご協力もあり滞りなく進んでおります。阿波地域についてはお年寄りの「みまもりバス」が始まり、自治協から有意義な事業を起こしていただき、本年度は色々な事業への取り組みが行われてきています。そうした中で財産区の山林保護等に関して、平松区地域では山の境がわからないということで、区分けのため境界明示の事業に取り組んでいると聞きました。だんだんと若者が山林への関わりが薄くなる中で、しっかりと大山田地域の山を守って頂き、今後もお世話になりたいと思っています。今回の議題にもあるとおり、森林整備計画等のご検討を頂き、ご協議を賜りながら大山田地域の保全と活性化にご尽力賜りますよう宜しくお願いします。
課長	ありがとうございました。それでは、会議録署名委員として、本日は福田委員と豆本委員にお願いします。
委員	わかりました。
課長	それでは議事について、会長より進行をお願いします。
会長	それでは議事に入ります。平成 27 年度予算 3 月補正予算について事務局より説明願います。

事務局	<p>平成27年度3月歳入補正から説明します。財産収入の土地貸付収入として、当初予算12,264,000円に対し補正額22,000円増としています。内訳は三重県洋蘭生産組合との契約解除により19,000円の減額、(株)青山高原ウインドファームとの新規契約2件により27,406円、13,067円の増額、三重県建設事務所との契約により1,082円の増額となっています。つづいて繰入金の大山田財産区基金利子として、当初予算9,000円に対して補正額13,000円増としています。内訳は大口定期預金利子、普通定期預金利子の合計22,936円の増額となっています。つづいて繰入金の大山田財産区基金繰入金として、当初予算5,309,000円に対して補正額5,309,000円減としています。理由として、林道シデノ木原改修工事が本年度は施工ができない状況となった為、繰入れる必要がなくなりました。つづいて繰越金として、当初予算200,000円に対して補正額1,401,000円増としています。内訳は既に確定している平成26年度からの繰越金に合わせた増額補正となっています。つづいて諸収入の預金利子として、当初予算1,000円に対して補正額1,000円減としています。つづいて諸収入の立木伐採補償料として、当初予算0円に対して補正額141,000円増としています。内訳として、(株)青山高原ウインドファームの新規土地貸付に関連し、分収契約地の解除に伴う損失補償金として100,375円、立竹木補償料として41,500円の収入増となっています。以上歳入合計当初予算17,783,000円に対して補正額3,733,000円減となっています。つづきまして歳出補正の説明に入ります。総務費総務管理費として、当初予算計4,005,000円に対して補正額計7,364,000円増となっています。主な補正として、本年度は災害による被害が少なく地区より申請がなかったことによる大山田地域林道事業等補助金2,500,000円減額と本年度の積立金として大山田財産区基金積立金10,112,000円増額による補正が挙げられます。つづいて財産費財産管理費として、当初予算計1,018,000円に対して補正額計480,000円減となっています。主な補正として、見廻り作業の減少により作業員賃金182,000円減と林道作業のための材料費の減少により材料費300,000円減が挙げられます。つづいて財産費財産造成費として、当初予算計12,545,000円に対して補正額計10,617,000円減となっています。主な補正として、間伐作業等の減少のため作業員賃金939,000円減、林道シデノ木原改修工事が本年度は施行できないことによる工事費9,100,000円減と材料費378,000円減が挙げられます。つづいて一時借入金利子、予備費について補正はありません。以上歳出合計当初17,783,000円に対して補正額合計3,733,000円減となっています。以上です。</p>
会長	平成27年度の補正を説明して頂きましたが何か質問はありませんか。
委員	歳入の雑入100,375円について、分収林契約解除によるものですか。
事務局	そうです。損失補償金として財産区分の6/10の金額になります。
委員	この金額が森林整備センターと分けた最終金額ということですね。わかりました。
会長	他はありませんか。それではないようですので次へ進みます。それでは平成28年度予算要求の説明についてお願いします。
事務局	<p>それでは平成28年歳入予算要求から説明します。財産収入土地貸付収入として要求額12,282,000円として、内訳は中部電力(株)1,882円、N T T西日本(株)5,466円、(株)青山高原ウインドファーム6,793,600円、同じく平成25年契約追加分5,444,579円、同じく平成27年契約追加分36,541円となっています。平成27年度は(株)青山高原ウインドファームと2件新規契約をしましたが、内1件、要求後の平成28年1月契約</p>

	<p>は含まれていません。つづいて財産収入大山田財産区基金利子として要求額 22,000 円、つづいて繰入金大山田財産区繰入金として 0 円、これはシデノ木原改修工事費が去年と比べ縮小されたことから繰入れる必要がなくなった為です。つづいて繰越金要求額 200,000 円、預金利子要求額 1,000 円となり、歳入要求合計 12,505,000 円です。つづいて歳出予算要求を説明します。総務費総務管理費として、管理会委員報酬 230,000 円、区有林管理人報償費 69,000 円、旅費 3,000 円、消耗品費 20,000 円、食料費 12,000 円、手数料 14,000 円は特殊健康診断費として計上、有料道路通行料 5,000 円、三重県水源林造林推進協議会負担金 10,000 円、大山田地域林道事業等補助金 3,010,000 円、林道維持管理負担金 286,000 円は前年までは協議費負担金としていましたが、本年度改正したとおりです。研修会等参加負担金 140,000 円、一般会計繰出金 1,255,000 円となり、計 5,054,000 円です。つづいて財産費財産管理費として、作業員賃金 274,000 円、報償費 75,000 円は新たに計上した予算でイベント等の講習会での支出を見込んでいます。燃料費 67,000 円、修繕料 12,000 円、火災保険料 130,000 円、自動車損害保険料 25,000 円、材料費 400,000 円となり、計 983,000 円です。つづいて財産費財産造成費として、労働災害保険料 16,000 円、作業員賃金 684,000 円、消耗品費 360,000 円、燃料費 64,000 円、修繕料 150,000 円、医薬材料費 40,000 円、財産区森林整備業務委託 1,500,000 円は新たに計上した予算となり、管理人では施業できない内容の作業を外注するため計上しています。工事費 3,139,000 円は林道シデノ木原線改修工事 1,060,000 円、森林作業道開設工事 879,000 円、作業道改修工事 1,200,000 円となっています。材料費 200,000 円、機械器具購入費 100,000 円となり、計 6,253,000 円です。つづいて一時借入金利子 15,000 円、予備費 200,000 円となり、歳出要求合計 12,505,000 円です。以上です。</p>
課長	<p>補足説明をさせていただきます。一般会計繰出金について、例年どおりのいぶし瓦常夜灯補助金ですが、前年は 622,000 円ですが平成 28 年度は電気量の変動や料金値上げを考慮し 714,828 円と計上しています。また新たに、せせらぎ公園整備に対する補助金として 540,000 円を計上しています。これは、地域から整備の要望がある中で、せせらぎ公園は市の条例を廃止した施設となり、市からの維持管理に係る経費が限られているので、ご検討して頂きたいと思い計上させていただきました。</p>
会長	<p>それでは何かご意見はありませんか。</p>
委員	<p>せせらぎ公園の補助金については、管理会で協議を行ってから予算書にあげるべきではないか。</p>
委員	<p>以前より財産区の意見として地域のことなので大事にしたいと話していた。将来的には予算をなにかに使うとみんなが考えていた。しかし、協議がなく予算にあがることはあってはいけない。</p>
支所長	<p>予算要求時期との調整が合わず迷惑をかけています。もし工事が必要であれば、補正対応では間に合わず、いま予算計上しておく必要があります。したがって、予算には計上していますが、工事の施行についてはこれから時間をかけてご審議いただきたいと考えています。</p>
委員	<p>地域からの要望はありますか。</p>
課長	<p>先日、老人クラブ連合会と行政が語る会がありまして、そこでせせらぎ運動公園の整備について提案いただきました。</p>

委員	旧大山田村のシンボルであるせせらぎ公園を整備するという声をあげていただいて感謝し、賛成している。常夜灯もそうであるが、過去からも大山田の収益をどのように地域に還元するかといろいろ知恵を絞ってきた。
委員	予算の時期があるのは理解できるが、話しが決まってないのに予算にあがるのはおかしいと思う。
委員	予算化する前にしっかり協議をするべきである。協議もなく決まっていくのなら管理会の意義がなくなる。金額の大小に限らず、
会長	この件に関しては、もっと早く要望などがあり、協議する時間を持てたらよかったのだが、予算書には計上しておかなければならない状況になった。本当は順を追ってできればいいのだが、今後はこのようなことがないようにしてもらいたい。また、執行については今後協議をすることとして、この予算に対しては、計上は承認するが施行は別途協議するというのでみんな宜しいですか。
委員	そういうことなら承認できます。
支所長	財産区のある地域は有効な財源にしていくべきという意見もあります。そういう状況の中で、大山田財産区としてはしっかりと理解を得ていきたいと思っています。今回このように、1円であろうが100万であろうが予算を計上する意味を重く受け止めながら、当局とも話し説明をしています。委員さまが心配していることは十分に理解していますので宜しくお願ひしたいと思います。
会長	それでは、他に質問はありませんか。
委員	工事費予算ですが、前年は一千万円計上されており、本年度は三百万円と極端に安価となっていますが、説明をお願いします。
事務局	工事内容を変更しました。前年は構造物での修繕を計画していたが、森林組合と協議をして修繕方法を検討し積算しています。
委員	作業道みたいなイメージですか。
事務局	そうです。まずは車が通れるようにします。構造物は被害に遭うと取り壊しや撤去に費用がかかります。
課長	高額な費用をかけて直しても被害にあったら無駄になるので、直しやすいような復旧をしていきたいです。
会長	舗装等の整備は今後の課題として、まずは登れるように復旧するということです。
委員	シデノ木原の林道は、終点までが市の台帳に記載されているのか。
事務局	いいえ、途中までの認定で、あとは作業道になります。
委員	崩れているところはどうか。
事務局	作業道です。
会長	それでは、28年度の歳入歳出予算要求については、こういう状況ですがご理解を頂いて、以上として宜しいですか。
委員	わかりました。
会長	それでは、つづいて森林整備計画策定作業についてです。伊賀森林組合増田課長に来て頂き説明をお願いしています。管理人さんの高齢化もあり、実際に見回りや作業も難しくなってきました。今度は自治協へ管理人を選出してもらおうとも考えていますが、どうなるのか見通しがかからないこともあり、森林組合にご協力を願って、施業のほうも進めていけたらと考えています。それには大山田財産区の森林がどのような現

	<p>状でどのように計画を立てていくのか説明して頂いて、協議をしたいと思います。それでは宜しくお願いします。</p>
<p>森林組合</p>	<p>お早うございます。伊賀森林組合の増田です。宜しくお願いします。昨年度は西教での提案型集約化施業にご賛同頂き、事業も無事終わりありがとうございました。それでは、本日皆さまに説明させていただくのは、伊賀市大山田財産区の森林整備計画策定のための要領についてです。伊賀市大山田財産区森林整備計画策定案として、まず一つ目が該当森林の境界明確化及び外周測量として、計画を立てるにつてはまずどこにどれくらいの山があるのかをしっかりと明確化する必要があります。管理人及び精通者の立会に基づき、財産区有林全域の境界を明らかにする。立会の際には外周の曲がり点及び主要点について指定する杭及び杭の識別番号を刻印した金属プレートを設置、各杭に近接する際面木にペンキ塗布を行う。外周測量はデジタルコンパスを使用し、GPS測量データの解析による緯度経度を全点測定する。人工林、天然林や明らかに林層の異なる林分は分割測量するが、外周のデータと混合しないように、杭の設置やGPS観測の対象としない。これは計画策定の資料として使用するが、緯度経度で図面化して残しておきますので未来永劫、杭の復元が可能となりますので財産管理において、貴重な資料となります。外周測量が終わりましたら、該当森林の調査に入ります。対象森林のうち人工林については、決まった頻度で標準値調査を実施し、標準値調査は10m×10mのプロット調査とし、プロット内樹木の樹種、胸高直径を毎木調査します。各林層に調査結果を集計し、蓄積量等の今後の森林整備方針立案のための資料とします。プロット調査は、山全体を調べていたら膨大な時間がかかるため、代表的なところを10m×10mの正方形を囲んで、その中の木全てを調査し換算するという調査方法です。ここまでは計画を立てるまでの調査、資料収集になります。次からは具体的に計画の作成になってきます。管理人及び財産区管理会及び財産区管理会の指定する有識者の聞き取りを行い、計画策定に係る整備方針等について助言、指導を受ける。整備方針については、伊賀市森林整備計画や森林経営計画に適合したものとします。計画の構成については、森林経営計画制度の移行も踏まえ、同制度に則って作成することとしています。この森林経営計画制度というのは、国が奨めているわれわれ所有者が立てるレベルの計画で、以前は森林施業計画といいました。現在は制度が変わっていますので、森林経営計画制度への移行も踏まえて作成します。具体的な成果品としては、伊賀市大山田財産区森林整備計画で内容は計画期間、所在及び面積、長期の方針、立木材積及び造林面積、現況及び伐採計画これはこの計画のメインとなります。森林の保護に関する事項、森林経営に関する事項、森林資源構成表となります。添付資料として、全図、位置図、測量結果、標準値調査結果、現況写真等、聞き取り調査表となります。いま、申し上げた内容の計画はかなり満点のいい計画でかなり費用もかかります。予算の関係もあろうかと思いますが、例えば調査を計画に盛り込むなどの色々な方法があり、予算に見合った計画をたてることもできます。配布資料には現在の森林簿で大山田財産区の検索をかけたデータを付けており、それに基づいた図面もあります。概ねこのような状況とは思いますが、若干違う箇所もあるかと思いますが、あくまでも参考資料としておいて下さい。また、島ヶ原財産区の許可を得ましたので、島ヶ原財産区整備計画も添付していますので参考にして下さい。つづいてですが、冒頭でお話しました昨年度事業をした西教の山については、補助金等の関係よりすでに経営計画が立っています。内容は以前に説明をさしていただき</p>

	ました道、間伐の仕事内容が計画に起こしてあります。これが森林経営計画書で、西教地区のみの計画となっています。森林計画を簡単に説明しますと、計画期間は5年となっており、平成27年4月1日から平成32年3月31日までとなっています。森林経営に関する長期の方針として、5年の計画期間に限らず長期を見据えた上でどんな風な山にしていくのかを明記しています。森林の現況、伐採の計画は5年間のうちに1回搬出間伐しますというのが記載されています。最後に西教地区経営計画の図面となっています。以上のようなかたちで西教地区については伊賀市で認定を受けています。このように大山田財産区全域で計画を策定していくということになります。以上です。
会長	ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問等はございますか。
委員	伊賀森林組合はF S C認証を取っていますか。
森林組合	取っていません。
委員	整備方針等について助言、指導を受けるとあるが市、森林組合が何か思うことがあるのか。
森林組合	財産区の山を今後どのような山にしていくかを森林組合が勝手に考えることはできませんので、今まで世話された方、管理人、管理会、また管理会から聞いておいてほしい人がおられた場合など、聞取りを行います。
委員	森林組合でこの人に聞けばいいというのはないのか。
委員	必ず有識者をいれなければいけないのか。
森林組合	そういうことではないです。
委員	要は集約した意見をいれるということですね。
森林組合	そうです。
管理人	現在は3人で管理しているが、昨年もなんとか阿波地域宝谷、柳谷のペンキ塗りをしたがなかなか3人揃うのは難しかった。今後、管理する作業班の巡回は、もう一回り若い世代を育成する必要があると思う。各地区数名で山に行き関心を持ってもらう方を選出していかなければと痛切に感じている。この際、境界を明確して、この計画をぜひ策定していただきたい。鹿の被害対策も計画したが、なかなか実行できない状態で、その点も伊賀森林さんにお問い合わせしたらできるのはありがたい。また次の後継者を発掘し、計画策定をぜひ進めてもらいたいと思います。
会長	データの図面に財産区ではなく市の土地があるように思う。財産区の台帳にもないと思うのだが。
課長	財産区に入ってないです。
事務局	数年前に財産区の図面を作成していますが、その台帳が管理している範囲と認識しています。
課長	それ以外は市有財産です。
会長	わかりました。われわれもずっといるわけではないのでデータの間違っている部分ときっちり分けておく必要がありますね。市有と財産区有と勘違いがないように整理しとかないといけない。
委員	県の砂防指定地、水源林等があるが、それによって計画の立て方が違うのか。
森林組合	そうです。
委員	目的別にしとかないと、水源林を含めた計画にしないといけない。

森林組合	計画書の山林一覧のところ、森林の種類がありまして、そこに保安林、普通林など全て記載します。
委員	財産区は保安林が多いが、間伐とかは市単事業でできますよね。ここは保安林なので市単事業、治山事業で間伐ができるとか使える補助事業を適用の欄に記載してまとめていけばいいのでは。
森林組合	わかりました。保安林整備については大山田財産区の中で、ある程度保安林が固まっている地域は既に県の治山事業の整備計画にのってまして、1回目の間伐はしています。現在、2回目の計画を立てている最中です。
事務局	28年度で計画を立てるとして、この提案された案でいきますか。
会長	予算の範囲でできるところまででいいのでは。全ての山を年内にできないのでは。
事務局	例えば来年3月に計画を完成するにはどういう工程ですすんでいきますか。
森林組合	時間がかかるのは調査です。
事務局	1年調査して、次年に計画ですか。
森林組合	計画のメニューによりますが、基本的には計画は立てた次の年度から始まります。
委員	境界の確定を全域できるのか。1年で出来上がるのならいいが、できないのなら2年に分けなければいけない。
森林組合	できるとは思います。一番手間はかかります。1年かけて調査を行い、調査結果に基づいて計画をたてます。
課長	1年でできますか。
森林組合	できます。
委員	委員会はどのような作業が必要になりますか。
森林組合	まずは境界の立会です。ペンキが塗っている箇所はわかりますが、ないところは教えていただきたいです。
会長	管理人さんが言うように、隣接した個人山の境界が一番難しい。見積りはどうなっていますか。
事務局	どの程度の計画をするのかを決めていただいてからと考えています。
会長	例えば計画、境界立会とかで分けて見積もりしてもらって、概算を出してもらってから、決めていけばいいのではないかと。
委員	項目別に分けて、このメニューを選べばこの金額になるとか、金額を減らす場合はこのメニューを外すとかをわかるようにしてもらいたい。
事務局	金額で決めていきますか。
委員	きっちり計画ができたほうがいいが、1年でできるのかと思う。
委員	境界確定と計画を分けることはできますか。境界確定は相手があるのでなかなか難しいのではと思う。
森林組合	分けることはできます。
事務局	境界が確定できなければ、計画が完成しないということではないです。
森林組合	そうです。計画書の中に境界明確化を記載するとか、整備計画の中で初年度はここまで境界明確化するとか、長期の方針があればいいと思います。
委員	境界確定を5年かけて明確化するとかでもいいということですね。
委員	同時進行でもいいということか。
森林組合	はい。

会長	ただわれわれが検討する中で、かかる費用を参考にしていきたい。仮に1千万円かかるとしたら、1年に使える額を考えて分けていかなければならない。目安になる概算額でもわかればいいが。
事務局	概算は300万円くらいと聞いています。
委員	面積はわかっているので計画は立てられると思うが、境界の確定は時間がかかると思う。
管理人	古い杭を新しい杭に打っているが、隣接する所有者と確認したほうがいい。
会長	それでは平成28年に計画を進めていくということで皆さん宜しいですか。また管理会がしなければいけないことを教えて下さい。ありがとうございました。
森林組合	ありがとうございました。
会長	それでは協議事項について、予算の説明、森林計画については、28年度で予算と調整をとりながら進めるということで宜しいですね。それでは、つづいて報告事項についてお願いします。
事務局	説明します。先ほど予算説明のときに触れました土地賃貸借契約についてですが、平成27年度は新規で2件契約がありました。1件は前回に回覧していますので、2件目分を報告します。内容は契約期間平成28年1月1日から平成32年3月31日で、年額52,268円です。
委員	平成28年度当初予算に入っていないのですね。
事務局	そうです。契約が1月で、当初予算に間に合わなかったので計上していません。補正で追加します。つづいて、国立研究開発法人主催のコンテナ苗植栽技術検討会の開催について案内がきています。希望の方は参加して頂きたいのですが、事務局からは都合が合わず参加できませんので、個人で行ってもらうことになります。締切りが平成28年2月29日ですので宜しくお願いします。次に毎年ある平成28年度水源林造成事業担当者打合せ会議が平成28年4月21日にあります。事務局から担当者が出席しますので、会長ともう1名出席されたらどうですか。宜しくお願いします。平成28年度は布引の間伐を要望しています。つづきまして、3月に配布予定の広報についてご意見があれば宜しくお願いします。
委員	カラーで出すのであればもう少しいい紙を使用したほうがいい。
事務局	組回覧にするか全戸配布するかどうしますか。
委員	可能であるなら全戸配布しましょう。
事務局	わかりました。全戸配布ですすめていきます。
課長	3月15日に全戸配布します。
会長	管理人の募集ですが、各自治協から3名くらいですか。
課長	先ほどなかなか人数が揃わないと話しがあり、1人でいくのは危険なので複数で行ってほしい。日程調整がうまくいかない事を考えると、各自治協から3名いれば、それぞれの地域で作業がしやすくなると考えています。
会長	それでは各自治協へ通達をしておいて下さい。
課長	森林組合へ委託ばかりではなく、地域の方々にも還元できるようにと思います。各自治協へ募集の説明をします。
委員	各自治協から揃わない場合についてはどうですか。
委員	意欲のある方で地域を越えて管理してもらえればいい。

会長	そうしましょう。
課長	それでは最後に男女協同参画について報告します。伊賀市では審議会の委員にも女性の登用を推進しており、現在、職員の登用は30%を超えて達成しています。しかし、地域の自治協等ではまだまだ達成できていない状況で、そんな中で伊賀市は目標が高く40%を目指していく方向となっています。先日、聞取りの中で財産区管理会での女性の登用の話があり、平成28年度で満期となるので次期にはぜひ女性の登用をと男女協同参画センター担当者からの意見を頂きました。先ほど出ました、要綱の作成等は現場作業ではなく法の知識を活かした方を登用できるのでは等の意見も頂いています。男女協同参画センターでは女性リーダー養成講座も開催しており、大山田地域で平成27年度に受講された方もいますので、次期の選出に紹介も頂いています。平成28年度12月で満期となりますので次期の委員選出のときには、女性登用も考えてみて下さい。以上、報告します。
会長	いいと思います。まずは本人の意向もあると思います。
委員	作業や山に入ったりのので、本人の意向次第ではないですか。
課長	過去には、女性の方にも枝打ち等の作業をしていただいていたのですが、最近では山に行く人自体が減っています。
会長	他に何かありますか。
委員	青山高原ウインドファームと定期的に話しをする機会があってもいいと思う。
課長	管理会開催時においてお願いして来てもらいます。
委員	以前シデノ木の付近を見せてもらったが、他はどうなっているのか。
課長	それでは見学会を申し込むこともできると思います。現在かなり進んでいると聞いています。
委員	大雨が降れば、かなり土砂が流れてきているように感じる。一年に1～2回定期的に見学したいと思う。現場を見ておかないとどうなっているかわからない。
事務局	それでは計画していきます。
課長	チラシ等でご存知かと思いますが、ゆめさきシンポジウムが27日13時30分から開催されますので、これからの地域を考えるためものですので、時間がある方はぜひご参加して見て下さい。
委員	管理人さんから何か要望とかないですか。
管理人	山に関心を持ってもらうのに、布引の自治協主催で先日も間伐でのチェーンソウの使い方を体験することをした。個人ではチェーンソウを持っているが、目立てもわからない、木の倒し方もわからないので安全な倒し方を体験してもらった。そこで、獣害対策で得たシカ、イノシシを活用した。収穫祭でも活用しているが、財産区でもそういう機会をどんどん作っていただきたいと願う。山に入って楽しい雰囲気、そういうことができたらと思う。
課長	平成28年度は講師料を計上してあるので、計画していきましょう。
管理人	布引自治センターで開催してキノコ菌打ちをしたが、そういう機会があればいい。山に関心をもってもらいたい。
課長	そうですね。山に親しんでもらう事業をしたいと思います。
支所長	いろいろな啓発や、子供達に山に親しんでもらう事業など次年度から実施していただき、また提案もさせていただきます。また、専従的な人も必要なのかと思いますので、

	自治協との連携も含め平成28年度はしっかりと方向性を見出してもらうよう検討していただきたいと思いますので宜しくお願いします。
会長	それでは平成28年度で、講習会や散策など計画を練って実施しましょう。それではこれで第3回管理会を閉会します。ありがとうございました。

会議録署名者

大山田財産区管理会 会長 _____ 印

大山田財産区管理会 委員 _____ 印

大山田財産区管理会 委員 _____ 印